

# 郷 蔵 米 通 信

2016年10月号 佐見稲作研究会

<http://gougura.main.jp/>

8月までの好天が嘘のように、9月に入っては雨、雨、雨と悪天候続き。稲刈りは、例年9月頃に行われるので、さすがに作業の遅れもまぬがれず、刈り時から一週間の延期はザラだという、大変な状況となっています。現在(10月1日)も、収穫は続いています。田んぼのコンディションも悪いので、さらなる作業の遅れもありそうです。ここまで大変な稲刈りは本当に珍しいです。(ひ)



## 5年の収穫！！——

8月までは天候に恵まれたこともあって、今年の収穫量は例年並みか、豊作のあいだといったくらいでしょうか。すべての稲刈りが終わっているわけではないので、正確な判断ではありませんが、手応えを感じている生産者は多いようです。

今年は9月の長雨による稲刈りの遅延以外は、ほぼ順調で、病気やトラブルによる大きな被害もありませんでした。また、胴割れ米(ひびが入っているお米)が多いとの話もないようなので、収穫の遅れも大きく影響はしなかったようです。

ただ、だからといって反省点がないわけではなく、それぞれ生産者個人こじん、思っていることはあるようです。ぜひ、収穫祭にてじっくりそのあたりは聞いて頂きたいと思います。

他に、今年の郷蔵米の特徴ですが、ヤマヒカリを作付けした生産者が多かったようです。アキタコマチ、コシヒカリ、キヌヒカリ、アキヒカリ、日本晴れと品種の種類でいえば、数はほぼ変わっていませんが、面積でいえばヤマヒカリが増えました。病気に強いという、作りやすさが要因になっているようです。

収穫祭での食べ比べも、おそらくヤマヒカリが多く出てくると思います。その点では、おいしさの優劣もはっきりしやすい。生産者としては、戦々恐々？ それとも嬉々として歓迎？ いずれにしても結果が楽しみです。

また、すでに新米も出荷が始まっていますので、ぜひ収穫祭で感想を聞かせて頂きたいと思えます。

## 収穫祭のお知らせ——

### 今年のう米(まい)を、腹いっぱい！！

日 時:11月6日(日) AM10:00~PM3:00  
場 所:下佐見 成山 『くわ山結びの家』(研修施設)  
駐 車 場:農機具倉庫前  
会 費:大人(中学生以上) 1600円 小人800円  
持 ち 物:箸、皿、お椀、軍手(お忘れなく！)



何から食べよう？ いろんな品種のお米と、いろんな味覚。カモ焼き肉、鯉の丸焼き、焼き芋、鴨汁などなど。

生産者の今年の力作と一緒に、たっぷりとご賞味下さい。

催しは、芋掘り、きなこ作り、餅つき、ワラ遊び。  
佐見に来る道の傍らには、見頃を迎えた紅葉も？

カメラをたずさえ、皆様でお誘いあって、ぜひご来場ください！

雨天決行。アルコール類もご用意しますが、飲酒運転にならないよう各段の配慮をおねがいたします。

なお、会場は外ですので、日除け対策など、各自必要な物もご持参下さい。

(前日の研修施設での泊まりも可能です。詳細は各会にお問い合わせ下さい)